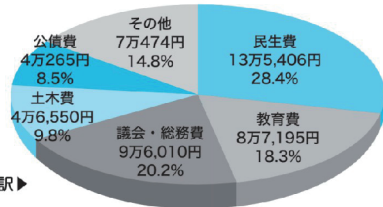


市民一人あたりに換算すると… (平成29年3月31日現在の人口 47,559人で算出)

市民一人あたりの行政サービスにかかったお金
47万5,901円 (昨年度42万9,155円)

市民一人あたりの一般会計歳出額の内訳▶



特別会計 (特定の歳入があり、一般の歳出と区別する必要がある事業の場合に設置される会計)

特別会計の種類	歳入決算額	増減率 (対前年度比)	歳出決算額	増減率 (対前年度比)
国民健康保険	52億6,172万円	△0.3%	52億4,138万円	△0.5%
東根財産区	164万円	14.7%	94万円	80.8%
公共下水道事業	20億2,046万円	5.7%	20億2,025万円	5.7%
介護保険	36億8,951万円	7.2%	35億4,173万円	5.1%
市営墓地	482万円	25.5%	305万円	107.5%
後期高齢者医療	4億6,920万円	8.1%	4億6,563万円	7.9%

企業会計 (原則として、提供するサービスに対する料金で運営される会計)

企業会計の種類	収入決算額	増減率 (対前年度比)	支出決算額	増減率 (対前年度比)
水道事業 (収益的)	12億1,236万円	0.2%	9億0,118万円	△10.9%
水道事業 (資本的)	3,908万円	29.2%	4億6,199万円	29.6%
工業用水道事業 (収益的)	2億2,448万円	6.8%	1億4,158万円	10.1%
工業用水道事業 (資本的)	1,173万円	—	2億5,586万円	124.3%

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、損益勘定留保資金や建設改良積立金、消費税および地方消費税資本的収支調整額などで補っています。

特別会計・企業会計の決算の特徴

- ◆国民健康保険特別会計 被保険者の減少により決算額は対前年比ではわずかに減少したものの、1人あたり・1日あたりの給付費などは増加
- ◆介護保険特別会計 高齢者および要介護認定者の増加により給付費が増えており、決算額は増加
- ◆水道事業会計 老朽管布設替工事による事業費が増えており、決算額は増加

指標で見る財政事情

指 標	項 目 の 説 明	平成28年度		平成27年度 (東根市)
		東根市	県内13市平均	
財政力指数	地方公共団体の財政力を示す指数。1に近い、あるいは1を超えるほど財政に余裕があります。	0.59	0.50	0.59
経常収支比率(%)	地方税や地方交付税などの経常的な歳入に対し、人件費や公債費等の経常経費の占める割合。この比率が低いほど財政に弾力性があります。	84.7	90.2	89.2
実質公債費比率(%)	これまで借り入れたお金の返済額などの水準を計る指標。18%以上で起債に許可が必要となり、25%以上で一部の起債が制限されます。	9.6	9.8	10.5
将来負担比率(%)	公営企業、土地開発公社などを含めた将来負担すべき負債を、一定の基準で算出した地方公共団体ごとの財政規模で除した割合。350%以上で早期健全化策が求められます。	18.0	69.8	21.7

東根市の数値は、県内平均と比較しても健全な数値となっています。

◆お問い合わせ 財政課財政係 TEL内線3135

平成28年度決算の概要をお知らせします

一般会計 (歳入合計 231億9,823万円 歳出合計 226億3,336万円)

	項 目	項 目 の 解 説	決算額	増減率 (対前年度比)	構成比
歳入	市 税	市民の皆さんに納めていただいた市民税や固定資産税など	69億8,636万円	7.9%	30.1%
	繰越金・繰入金・寄附金・諸収入など	前年度からの繰越金や、基金からの繰入金、寄附金、使用料、手数料、負担金、その他の収入	46億0,139万円	44.7%	19.8%
	自主財源の合計		115億8,775万円	20.0%	49.9%
	地方譲与税など	国の税金から一定の基準に従って譲与・交付されたお金	2億9,203万円	0.2%	1.3%
	地方消費税交付金	地方消費税から人口や従業員数で按分して交付されたお金	8億0,196万円	△8.2%	3.5%
	地方交付税	市の財政状況に応じて、国の税金から交付されたお金	41億3,429万円	△0.5%	17.8%
	国・県支出金	市の事業に国や県から交付されたお金	40億3,360万円	6.4%	17.4%
	市 債	市が公的機関や銀行などから借り入れたお金	23億4,860万円	3.0%	10.1%
	依存財源の合計		116億1,048万円	1.9%	50.1%
	歳入(自主財源+依存財源)の合計		231億9,823万円	10.2%	100.0%

	項 目	項 目 の 解 説	決算額	増減率 (対前年度比)	構成比
歳出	議会・総務費	議会の運営や市の全般的な事務に使われたお金	45億6,613万円	41.6%	20.2%
	民生費	子どもや高齢者など、主に福祉に使われたお金	64億3,976万円	16.8%	28.4%
	衛生費	健康を守ることや、ごみの処理などに使われたお金	13億1,944万円	△10.2%	5.8%
	農林水産業費	農林業の振興などに使われたお金	6億2,547万円	35.1%	2.8%
	商工・労働費	観光振興や商工業の発展、労働者福祉などに使われたお金	7億4,099万円	△1.8%	3.3%
	土木費	道路や橋、公園などに使われたお金	22億1,389万円	△10.0%	9.8%
	消防費	消防活動や救急活動に使われたお金	6億6,579万円	△5.2%	2.9%
	教育費	小中学校や公民館、文化活動などに使われたお金	41億4,692万円	7.0%	18.3%
	公債費	借り入れたお金の返済に使われたお金	19億1,497万円	△3.2%	8.5%
	歳出の合計		226億3,336万円	10.7%	100.0%

一般会計決算の特徴

- ◆ふるさと納税により寄附金が増額となり、自主財源が大幅な増額となりました。
- ◆法人市民税などの増収により、市税が増額となりました。
- ◆まなびあテラス整備などの大型事業実施に伴い、国庫支出金や市債が増額となりました。
- ◆総務費は、ふるさとづくり基金積立などにより大幅な増額となりました。
- ◆民生費は、中部学童保育所の整備や民間保育所整備への補助の実施に伴い、大幅な増額となりました。
- ◆教育費は、まなびあテラス整備など大型事業の実施に伴い、増額となりました。